

優しい風の吹く街



宝塚市は4月1日に市制70周年を迎えました。女性議員が過半数になった宝塚市議会も「ガラスの天井・その先へ」とのテーマで記念シンポジウムを行いました。私も議員として新たな気持ちで頑張っていきます。

宝塚市男女共同参画推進条例には、性別だけではなく性自認・性的指向による差別禁止が謳われています。それを礎として本年3月に、教育委員会と教職員共同作成の『ありのままに自分らしく』性の多様性を考える授業書が完成しました。すべての教職員に配布されましたので、互いに認め合える学校園所をめざして、授業で活用されることを大いに期待します。

活動報告

<4月>

- 1日 SSW 講演会
- 3日 議会ペーパーレス研修会
- 10日 兵庫県民大学理事会
- 13日 明石川の水学習会
- 14日 議会報告会
- 20日 宝塚市制70周年記念式典
だんじりパレード
- 26日 宝塚市メーデー

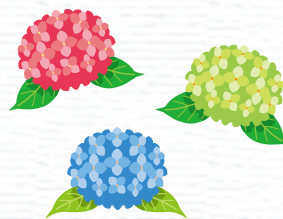


<5月>

- 3日 兵庫県憲法集会
- 9日 自治体議会セミナー
- 13日 ヒューマンライツ議員の会
- 17日 新任教職員歓迎ボウリング大会
- 22日 連合東部フォーラム
- 23日 自治会連合会講演会
演題：ローカルを極めることが真のグローバル
— Local & Globalの挑戦 —
講師：中貝宗治・前豊岡市長

<6月>

- 1日 泉房穂&桜井シュウ対話集会



- 9日 憲法学習会 (伊藤真弁護士)
- 23日 レインボープライドたからづか
(交流会・花のみちパレード)

1 ウェルビーイングを高める学校づくり

<質問1>

ウェルビーイングは、自分だけの「ハピネス」ではなくその社会の誰もが心身ともに持続的に満たされた状態を意味する新しい言葉だが、教育現場でも注目されている。自分らしく生きることができる学校づくり=人権教育が根本となっている。いじめや差別をなくし、互いを認め合う鍵となる「子どもたち自身の参画」は。

<教育長答弁>

小学校では「やさしいことばがけをしよう」と生活目標をたてている。中学校では「いじめに発展しない関わりかた」の寸劇発表など、子どもたちが主体となり取り組んでいる。

<質問2>

「カリキュラム・オーバーロード」によって子どもたちに過大な負担がかかっている状態は全国で認識されている。その解消策は進んでいるのか。

<教育長答弁>

本年3月に「2024年度の教育課程の編成方針について」を各校に通知し、授業時数が標準授業時数を大幅に上回っていないかの点検や見直しを依頼した。

<質問3>

子どもたちの豊かな学校生活や学びを保証するためにも教職員の未配置問題の解決が急がれる。進捗は。

<教育長答弁>

教職員の人材不足は全国的にも深刻な問題。本市で年度当初は小学校で20人、中学校では3人が未配置。その後の求人活動で現在は小学校で7人、中学校で1人と改善してきているが、解消には至っていない。今後もあらゆる手段を講じて取組を進めていく。



<2次質問1>

コロナ禍において教育課程の標準時数確保が難しくなり長期休業が短縮された。現在は普段の状況に戻ったことに鑑みて、長期休業を元に戻すべきではないか。特に春休みは、新年度の準備に多大な時間がかかる。さらに従来の新任教職員研修プラス今年から臨時採用教職員の研修が行われ、教職員同士が揃わず新学期準備ができない。「春休みの延長」も図るよう提案する。

<学校教育部長>

春休みを含む長期休業の延長について、各学校の適正な授業時数確保を確認し、近隣市を参考に検討する。

<2次質問2>

先日、千葉県と千葉市の教員採用選考において、奨学金の代理返還などの新たな取組を実施すると発表すると問い合わせが殺到したと聞いている。このように待遇改善することは教員人材確保の大きな一歩である。兵庫県でもできるように意見を上げられないか。本来は国が実施することが望まれるが、今の時点では地方が動くことしかない。見解は。

<学校管理部長答弁>

千葉の取組については研究を進めたい。現在の教員不足の一番の原因は、必要な定員が正規職員のみで配置されない状況にある。県に対して正規職員の必要数配置を強く要望していきたい。

2 特殊詐欺から住民を守るための対策強化について

<質問1>

兵庫県内で警察が確認した2023年の特殊詐欺被害額は19億9000万円で、被害件数は1224件と発表され、この数は過去最多。宝塚市の状況は。



<市長答弁>

2023年中の認知件数47件、被害総額は4300万円。予兆電話は275件確認。多くの事案が発生。

<質問2>

自動録音機能が付いた防犯電話機購入補助金の交付が決まった。購入を促すための具体策は。

<市長答弁>

特殊詐欺の犯人はこの機能付きの電話機を嫌がるため被害防止に効果があるとされている。

- ・家電販売店に啓発チラシや募集要項の配布依頼
- ・地域包括センターの出前講座で説明会実施等

<2次質問1>

若者がオレオレ詐欺の受け子等、使い捨て人材として詐欺行為に引き込まれている。加害者にならないための消費者教育・シティズンシップ教育が必要では。

<学校教育部長答弁>

警察や携帯電話のキャリア会社等と連携しメディアに関する講話を実施。消費者教育の学習も進めていけるよう学校に指導する。

北野さと子の意見

有名人を騙る投資詐欺、架空請求等「新たな手法の詐欺」も増えているので、被害防止と犯罪側に引き込まれないための対策強化が必要である。

3 大阪・関西万博への校外学習

<質問1>

大阪府知事による府内小中高生100万人無料招待に続き、兵庫県でも無料招待が発表された。対応は。

<教育長答弁>

子どもの安全性を基本として情報収集に努める。

<質問2>

交通アクセス方法が少ないが、バス確保はできるのか。電車利用では小学生が安全に乗車できるのか。

<教育長答弁>

県の推進本部や各推進局の情報から現状把握に努める。

<質問3>

会場の人口島・夢洲で、3月の工事中に地中のメタンガス爆発事故が起きた。安全の保証はできるのか。

<教育長答弁>

県の推進本部や各推進局の情報から現状把握に努める。

<質問4>

学校行事として実施するならば、子どもたちの安全を守るために、交通アクセス・乗り換え・休憩場所・トイレ・障がいのある子への対応可能か等、現地の下見が必要不可欠だが、できるのか。

<教育長答弁>

学校向けの下見期間を設けるかどうかの情報がなく現段階では下見を実施できるかどうかはわからない。



3 大阪・関西万博への校外学習

<2次質問1>

平等にチャンスが与えられるように「行かない学校の子どもにチケットを配る」という話への本市の見解は。

<学校教育部長答弁>

児童生徒全員にチケット配布できるならば検討する。

<2次質問2>

「学校単位で無料招待する」とされているがどうか。さらに、特別支援学校・特別支援学級の児童・生徒の学習環境への合理的配慮は十分整っているのか。



<学校教育部長答弁>

市内で学校単位の校外学習の例はなく、学年で計画することが多い。合理的配慮については会場の詳細が不明のため現時点では答えることができない。

<2次質問3>

尼崎市長は児童生徒の安全確保や教員の負担などの面から「学校単位の行事ありきで進められるのを大変心配している」と懸念を示した。宝塚市の見解は。

<副市長答弁>

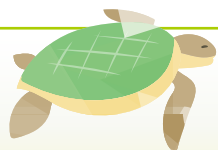
一番に子どもの安全安心が確保されないといけない。もう1点は、集団で行くとしてバスそのものを集めることが難しそうであること。これらに重大な関心をもち教育委員会と連携していく。

生活カトピックス

6/23
sun

レインボープライド たからづか

LGBTQ+当事者とアライ(支援者)の交流会を文化芸術センターで行い、その後、全員で花のみちをパレードした。地域の皆さんから温かいエールをいただくこともできた。



風のココロ



大阪・関西万博への校外学習実施は、6月時点では情報不足であり、最終的には学校現場の判断だが、私は子どもの安全確保の不安が大きく、かなり難しいのではないかと考えている。子どもたちへチケット配布すれば、保護者も入場するのでその方が集客増になる。